

第14回三番瀬評価委員会の開催結果（概要）

- 1 開催日時 平成21年10月30日（金）午後6時05分から9時28分
- 2 場 所 千葉県国際総合水泳場会議室
- 3 出席者 委員6名
（細川座長、蓮尾副座長、宮脇委員、望月委員、岡安委員、横山委員）
- 4 参加人数 22名
- 5 配布資料
資料1 第13回三番瀬評価委員会の結果について
資料2-1 平成20年度三番瀬水環境モニタリング調査報告書（案）
資料2-2 平成20年度三番瀬深淺測量調査報告書（案）
資料2-3 三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会での指示事項への対応
資料3-1 塩浜護岸のモニタリング調査の中間報告
資料3-2 平成21年度自然環境調査中間報告
資料4 検討結果報告（案）

6 結果概要

(1) 開会

県総合企画部森理事からあいさつがあった。

(2) 開催結果の確認委員

細川座長からの指名により、望月委員、横山委員が会議開催結果の確認を行うこととなった。

(3) 議事

議題1 第13回三番瀬評価委員会の結果について

事務局から、第13回三番瀬評価委員会の開催結果（資料1）について説明があった。

議題2 平成20年度三番瀬自然環境調査の評価について

事務局から「資料2-3：三番瀬の水の流れ及び地形に係る作業部会での指示事項への対応について」を中心に、「資料2-1：平成20年度三番瀬水環境モニタリング調査報告書（案）」及び「資料2-2：平成20年度三番瀬深淺測量調査報告書（案）」の内容の説明があり、意見交換を行った。

【主な意見】

横山委員 深淺測量調査結果で、シルト・粘土の割合と堆積・侵食量から計算すると三番瀬全体で、年当たり23万 m^3 ぐらいの砂が堆積しており、かなり多い。市川航路を含めての土砂移動メカニズムの検討は今後の課題である。

望月委員 鳥瞰図のポイントとなる場所は注釈を入れて、平面図での位置が確認できるようにしてほしい。

また、滞筋等の崩落が起こるような場所は誤差が大きいので、変化量計算に入れていないとの説明を受けたが、そのような内容が報告書には書き込まれていない、また、図場番号のミスなどもまだあるので、丁寧に書き込むこと。

岡安委員 番号がない図や、本文のほうに図の番号が引っぱっていないところがあるので、必ず図番号を本文の中に入れ込むこと。

また、年度が、西暦のものと元号が使われているので、どちらかに統一すること。

●細川座長まとめ

七つの水平区分について、それぞれのシルト・粘土分で何トン、砂分で何トンという計算および供給源の検討をする必要がある。また、陸地との境界付近で、堆積等の変化がある場所については陸上の地図とうまくつなげる図面をつくり、護岸工事等の影響について確認すること。

他にも、記述で改善すべき点が指摘された。

結果について明らかに疑問といえる数値はなかったので、上記の指摘事項を踏まえて、報告書を改善すること。

議題3 三番瀬再生会議への検討結果報告（案）について

事務局から、三番瀬再生会議への報告案について資料4について説明があり、意見交換が行われた。

【主な意見】

横山委員 検討結果報告で評価委員会から提案をして、再生会議で認められた場合は、県はそのとおりに対応するのか。

回答（事務局）これまで、再生会議から県に文書で提出されたものに対し、誠心誠意応えてきています。

横山委員 予算や委託方式、4月早々の発注体制等、意見に対しては前もって準備していただきたい。

●細川座長まとめ

検討結果報告案の修正については、本日の会議結果を踏まえて蓮尾副座長と協議のうえ、案を作成して、各評価委員に確認をとることとする。

評価委員会からの提案については県でも十分ご理解して、三番瀬再生事業を進めていただきたい。

議題4 平成21年度調査の中間報告

事務局から「資料3-1：塩浜護岸のモニタリング調査の中間報告」について報告を行った。

【主な意見】

細川座長 塩浜2丁目区間での地形調査による侵食・堆積傾向の記述が、平成20年度三番瀬自然環境調査における三番瀬深淺測量の結果（堆積傾向）と異なる部分があるので、確認作業を行うこと。

蓮尾副座長 水鳥に関わるヒアリング結果を調査報告書に使う場合、その情報源としての責任がかなり重くなるので、データ提供者に報告書案を見てもらって、了解を取ること。

望月委員 生物調査結果について、細かいデータの比較や分析の検証がしやすいように、学術報告書のような形式を用いた記述にしていきたい。

宮脇委員 緑化試験について、その目的を明確にしたうえで、結果が適切に評価できるように記述すること。

岡安・望月委員 砂つけ試験については、投入砂の変化状況、生物の加入状況ともに流出防止工を設置した条件下の変化であることに留意すること。

● 細川座長まとめ

各委員からの意見に対応するとともに、試験結果の評価について、限られた条件、限られた時間での試験であり、詳細に調べるというモニタリングではないことに留意して、判断できることのみを表現するように注意すること。

工事の続行の判断を左右するような環境への悪影響は今のところ見られないが、引き続き留意してモニタリングを続行すること。

議題5 その他

次回の三番瀬評価委員会の日程は2月から3月をめどに日程調整を行う。

(4) 閉会